調査・研究から

伊豆東岸定置網における主要魚種の

平成31年上半期の漁況経過と下半期の漁況予測

1　平成31年上半期(1～6月)の経過

（1）　総漁獲量

伊豆半島東岸大型定置網7か統（伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津）における平成31年1～6月の魚種別月別漁獲量を表1に示しました。総漁獲量は1,252トンで、前年の78%、平年（2000～2018年平均値）の58%でした。多獲された魚種は、さば類、ブリ、マイワシ、スルメイカ、シイラでした。

（2）　魚種別漁獲量（ブリ・マアジ・さば類）

（ア）ブリ

ブリ（ぶり、わらさ、いなだ、わかし）の漁獲量は279トンで、前年比54%、平年比1.3倍でした。銘柄別にみると、ぶりは161トンで、前年比54%、平年比1.6倍、わらさは81.8トンで、前年比57%、平年比97%、いなだは2.9トンで、前年比21%、平年比23%でした。わかしは4.1トンで、前年比80%、平年比8.9倍と、平年を大きく上回りました。

漁獲されたブリは、1～4月はぶり・わらさ主体、5～6月はわらさ・わかし主体でした。

（イ）マアジ

マアジ（じんだ銘柄を除く）の漁獲量は30.6トン、前年比1.1倍、平年比7%と、極めて低調な漁獲でした。じんだ（小型0歳魚）の漁獲量は496kg、前年比4.3倍、平年比8%と極めて低調な漁獲ではありましたが、前年を上回りました。

漁獲されたマアジは、1～4月は尾叉長15～25cmの1歳魚主体、5月は5～10cmの0歳魚（じんだ）および25cm以上の2歳以上主体、6月は5～15cmの0歳魚および20～25cmの1歳魚主体でした。

（ウ）サバ類

マサバの漁獲量は174トンで、前年比43%、平年比2.3倍と平年を上回りました。月別にみると、5月に漁獲量が多く、平年比3.5倍でした。漁獲されたマサバは尾叉長30～40cm主体でした。

ゴマサバの漁獲量は268トンで、前年比97%、平年比76%でした。月別にみると4月は前年比2.7倍、平年比3.3倍と前年、平年を上回りましたが、その他の月は平年を下回りました。漁獲されたゴマサバは尾叉長30～40cmの2歳魚以上主体でした。

さばっこ（マサバ、ゴマサバの小型0歳魚）の漁獲量は17.2トンで、前年の5.9倍、平年の64%と前年を大きく上回りました。漁獲されたさばっこは、尾叉長10～15cm（ゴマサバ）でした。

表1　伊豆半島東岸大型定置網における平成31年上半期の月別魚種別漁獲量（kg）

魚種名（銘柄）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	総計
ブリ（ぶり）	280	414	123,602	35,945	231	69	160,541
ブリ（わらさ）	706	95	1,406	41,001	11,541	27,040	81,789
ブリ（いなだ）	93	51	166	738	479	1,375	2,902
ブリ（わかし）	20	7	28	40	2,160	1,826	4,080
ヒラマサ	2	10	24	1,740	491	40	2,306
カンパチ	163	73	23	28	9	578	874
マサバ	9,561	6,901	28,394	25,519	95,897	7,797	174,069
ゴマサバ	9,282	9,339	10,959	141,776	75,303	21,611	268,270
さばっこ	980	1,278	506	5,204	5,661	3,525	17,154
マイワシ	6,083	58,913	1,504	108	18,490	24,974	110,071
カタクチイワシ	1	16,998	9,454	4	13,179	8,056	47,691
ウルメイワシ	1,076	125	17	376	4,775	26,749	33,118
マアジ	2,383	2,852	3,129	4,354	12,344	4,079	29,140
マアジ（小）	687	45	21	24	224	474	1,474
マアジ（じんだ）	6	36			112	342	496
シイラ	34		48	3,174	22,860	25,607	51,723
マルソウダ	14,619	911	578	3,402	25,251	125	44,886
サンマ	24,808	1,499	435	68			26,810
イサキ	1,338	891	816	1,107	5,307	4,011	13,470
フグ類	1,485	418	199	223	5,069	3,708	11,103
アカカマス	2,343	1,722	1,931	1,524	1,079	1,172	9,772
ホウボウ	1,068	1,972	2,463	1,567	1,088	303	8,461
イシダイ	602	2,265	4,342	679	208	30	8,125
ムツ	206	216	294	327	1,397	1,635	4,075
サワラ	65	46	197	2,975	433	184	3,900
ヒラソウダ	1,794	64	109	214	487	566	3,234
トビウオ	170	2	626	119	1,604	702	3,223
ヒラメ	229	460	676	614	500	242	2,721
タカベ						2,250	2,250
メジナ	134		203	728	863	290	2,218
タチウオ	32	73	453	1,505	111	18	2,192
マダイ	36	156	277	345	833	394	2,041
ハガツオ	1,120	268	17	7	420	162	1,993
ｳﾏﾂﾞﾗﾊｷﾞ・大中	51	87	368	1,094	52	22	1,674
モロ	30	4	77	1	119	920	1,150
スルメイカ	6,071	4,560	33,450	25,353	16,032	1,136	86,603
スルメイカ（こいか）	0				36	1	37
ヤリイカ	1,589	466	356	228	170	65	2,874
アオリイカ	245	218	202	1,138	2,500	1,107	5,410
その他	2,330	1,664	2,063	3,384	4,847	3,736	18,023
総計	91,722	115,099	229,410	306,632	332,158	176,921	1,251,943

2 令和元年下半期(7～12 月)の漁況予測

水産技術研究所伊豆分場は、神奈川県水産技術センターと共同で、令和元年下半期（７～12 月）の伊豆東岸定置網（相模湾）における漁況を表２のとおり予測しました。

表２ 伊豆半島東岸大型定置網における令和元年下半期の漁況

マアジ	来遊量は前年を上回る。尾叉長16～18cm主体。
マサバ	来遊量はゴマサバに混じる程度。尾叉長30cm前後主体。
ゴマサバ	来遊量は前年並み。尾叉長30cm以上主体。
マイワシ	来遊量は前年並み。被鱗体長10～15cm主体。
カタクチイワシ	来遊量は前年並み。
ブリ	漁獲は前年を上回る。わかし・いなだ銘柄主体。

・マアジ

近年、マアジ太平洋系群の資源は低調に推移しています。伊豆東岸定置網における漁獲量についても、2010 年頃より減少傾向で推移しており、2019 年上半期は、不漁であった 1980 年代と同レベルの低水準となっています。じんだについても漁獲は低調ですが、2019 年上半期は前年を上回りました（前年比 4.3 倍)。

下半期には、16～18cm の 0 歳魚主体に、20cm 前後の 1 歳魚も漁獲されます。下半期の漁獲量は、同年上半期のじんだ漁獲量と比例関係にありますが、年上半期のじんだ漁獲量は前年を上回ったことから、下半期の来遊量は前年を上回ると予測しました。

・マサバ

マサバ太平洋系群の資源は近年増加傾向で推移しており、伊豆東岸定置網における上半期の漁獲量は前年を下回ったものの、平年の 2.3 倍でした。

2001 年以降、下半期の漁獲量は 10 トン前後と少なく、概ね 30cm 前後主体に漁獲されています。そのため、2019 年下半期の来遊量はゴマサバに混じる程度（ゴマサバ漁獲量の 1 割未満）と予測しました。

・ゴマサバ

ゴマサバ太平洋系群の資源は近年減少傾向で推移していますが、伊豆東岸定置網における上半期の漁獲量は前年並みでした。

2001 年以降、下半期は概ね 30㎝ 以上主体に漁獲されています。近年の傾向として、下半期の伊豆諸島周辺海域における棒受網およびたもすくい網の漁獲量と、伊豆東岸定置網の漁獲量は比例関係にあり、令和元年度第 1 回長期漁海況予報では、「2019 年下半期の伊豆諸島周辺海域のゴマサバ来遊量は前年並み」としていることから、来遊量は前年並みと予測しました。

・マイワシ

マイワシ太平洋系群の資源は近年増加傾向で推移しており、伊豆東岸定置網における上半期の漁獲量は前年を上回りました。

近年、下半期には被鱗体長 10～15㎝ の 0 歳魚主体に漁獲されています。相模湾におけるマイワシ 0 歳魚漁獲量と春季マシラス漁獲量は比例関係にあり、2019 年 3～6 月のマシラス漁獲量は前年を上回ったことから、下半期のマイワシ来遊量は前年を上回ると考えられます。但し、2018 年下半期の漁獲量は特異的に好調であったことから、2019 年下半期の来遊量は好調であった前年並みと予測しました。

・カタクチイワシ

カタクチイワシ太平洋系群の資源は近年減少傾向で推移しており、伊豆東岸定置網における上半期の漁獲量も前年を下回りました。

近年、下半期には被鱗体長 9㎝ 未満の未成魚主体に 9～11㎝ の小型成魚も漁獲されています。例年、下半期の漁獲量は概ね 100 トン前後で推移していることから、2019 年下半期の来遊量は前年並みと予測しました。

・ブリ

ブリ太平洋系群の資源は近年高水準で推移しており、伊豆東岸定置網における漁獲量も高い水準にあります。

下半期は、わかし・いなだ銘柄主体に漁獲されており、同銘柄の上半期と下半期の漁獲量には比例関係があります。2019 年上半期のいなだ・わかし銘柄の漁獲量は前年を上回ったことから、下半期の来遊量は前年を上回ると予測しました。

（鈴木勇己）